

## 6. 目標を達成するためのプロジェクト・施策

### 6-1 施策体系

	施策の内容	施策メニュー
地域公共交通網の再編事業	市の目指す「将来のまちの姿と方向性」の実現に向け、地域内及び広域の移動を持続的に確保していくことに加え、市の骨格となる路線に戦略的に投資していくという考えのもとで、市内公共交通網（バス路線）の再編事業を検討する。また、復興事業の進捗状況に合わせた段階的な路線網の整備・見直しを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○骨格路線の導入</li> <li>○路線バスの路線再編 （中心部路線、広域路線）</li> <li>○住民バス・市民バスの路線再編 （広域路線、地域路線）</li> </ul>
交通拠点の案内表示等の整備	骨格路線・広域路線・地域路線等が連携した公共交通網の構築に向け、交通拠点において待合環境、乗継案内（鉄道からバス・タクシー、バスからバス）、乗り場案内、乗り場での行き先表示等を整備する。また、待ち時間を楽しくすごせる工夫を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○骨格路線上の主要な交通拠点の整備</li> <li>○地域内拠点の整備</li> </ul>
運賃体系の再構築	公平で適切な受益者負担の考え方にもとづき、路線バス・住民バス・市民バスの適正な運賃体系を再設定する。また、広域路線の運賃を日常生活で利用できる範囲で設定することや、まちなかでの近距離区間を気軽に利用できる運賃設定などを検討する。その他、市内の各公共交通モード間で利用できる企画運賃なども検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の一体的な運賃体系の設定</li> <li>○分かりやすい運賃体系の設定</li> <li>○企画乗車券・フリー定期券等の企画・商品化</li> </ul>
住民バス・市民バスの新たな制度設計	各地区で運行している住民バス等について、運賃体系の再構築や全市的な基本サービス水準の設定を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運賃体系の再構築</li> <li>○基本サービス水準の設定</li> </ul>
利用促進（モビリティマネジメント）	再編した公共交通網をより多くの市民や来訪者に知ってもらい、利用してもらうための利用促進策を検討する。見せ方の工夫や情報提供ツールの作成・配布に加え、目的施設等と公共交通をパックにしたお得な企画乗車券等も検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○分かりやすい路線の見せ方</li> <li>○ラッピングバスの運行</li> <li>○バスパック等の企画商品化</li> <li>○バスの乗り方教室</li> <li>○情報提供ツールの作成（更新）・配布</li> </ul>
環境整備	持続可能で誰もが利用しやすい公共交通を目指し、車両・乗場・支払方法等のバリアフリー化、離島航路の改善等を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バリアフリー化の推進</li> <li>○離島航路の航路発着所増設、待合所・駐車場整備、新船建設</li> </ul>

## 6-2 地域公共交通網の再編事業

市の目指す「将来のまちの姿と方向性」の実現に向け、地域内及び広域の移動を持続的に確保していくことに加え、市の骨格となる路線に戦略的に投資していくという考えのもとで、市内公共交通網（バス路線）の再編事業を検討する。また、復興事業の進捗状況に合わせた段階的な路線網の整備・見直しを検討する。

### 【実施主体とスケジュール】

施策	実施主体	スケジュール										
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
骨格路線の導入	交通事業者 石巻市	再編 実施 計画 の 策定	準備 ・ 調整	導入					継続又は見直し			
路線バスの路線再編	交通事業者 石巻市			再編					継続又は見直し			
住民バス・市民バスの路線再編	石巻市 運行協議会 交通事業者			再編					継続又は見直し			

## (1) 骨格路線の導入

### ① 蛇田・石巻・渡波線（赤色）

#### ■起終点・経路

- ・起終点：蛇田（イオンモール石巻・日赤病院）⇔渡波（渡波駅・イオン石巻東）
- ・経路：蛇田（イオンモール石巻・日赤病院）～のぞみ野（新蛇田地区）～石巻あゆみ野駅～大街道～石巻駅～中心市街地～さくら町（新渡波・新渡波西地区）～渡波（渡波駅・イオン石巻東）

※石巻免許センター線、日赤渡波線、渡波線の3路線を統廃合する

※上り下りともに新内海橋経由とする（大橋経由の廃止）

※中央地区の観光交流施設へ乗り入れし、離島航路（中央発着所）とも接続する

※蛇田側の発着は、イオンモール石巻と日赤病院の2パターンを検討する

※渡波側の発着場所は、渡波駅を基本とするがイオン石巻東も検討する

※新市街地の「さくら町（新渡波・新渡波西地区）」、「あゆみ野（新蛇田南地区）」、「のぞみ野（新蛇田地区）」経由とする



#### ■サービス水準など

- ・パターンダイヤ化（最低でも1時間に1本運行。理想は30分ヘッド）
- ・わかりやすく、利用しやすい運賃とする

## ②石巻・蛇田・河北線（青色）

### ■起終点・経路

- ・起終点：河北（上品の郷）⇔中心市街地（中央地区）
  - ・経路：（飯野川）～上品の郷～河北（二子）団地～日赤病院～イオンモール石巻～石巻駅～中心市街地（中央地区）
- ※石巻免許センター線、三陸線、河南線（石巻駅～イオンモール石巻）の3路線を統廃合する
- ※日赤病院～上品の郷間のルートは、市街地側を通ることも検討する
- ※不動町等のエリアをカバーするために、ミヤコーバス石巻営業所を発着とすることも検討する

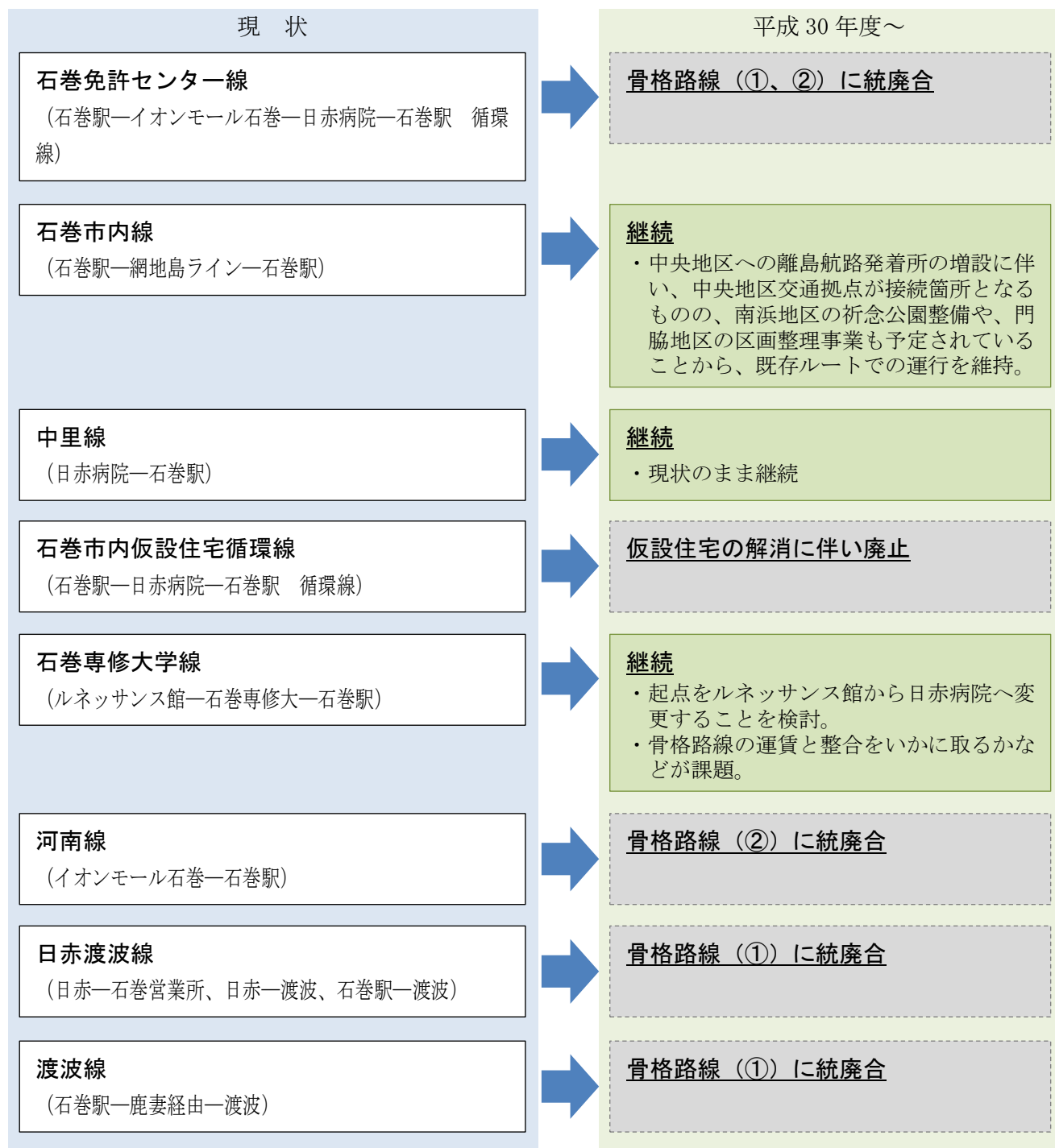


### ■サービス水準など

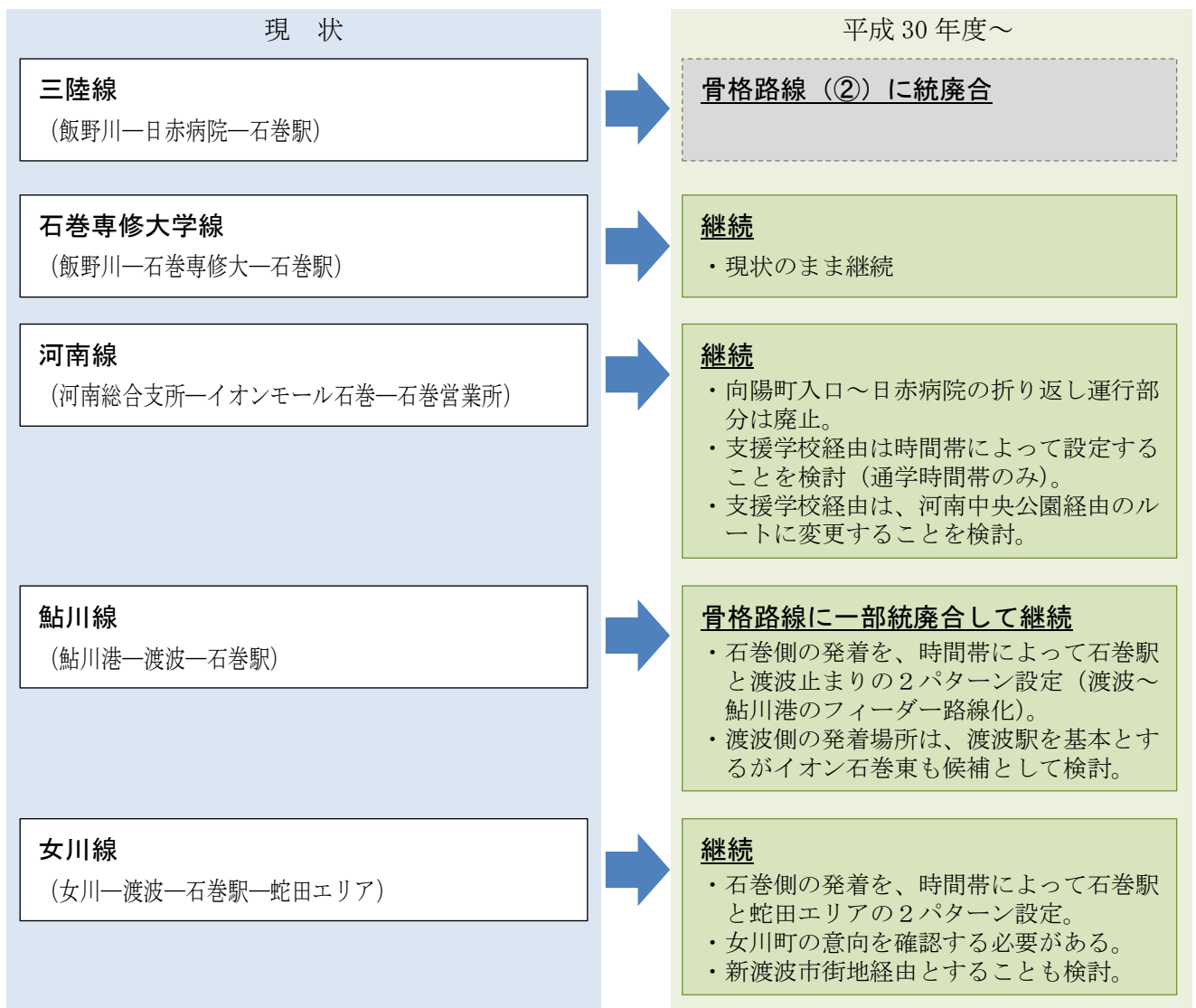
- ・パターンダイヤ化（最低でも1時間に1本運行。理想は30分ヘッド）
- ・わかりやすく、利用しやすい運賃とする

## (2) 路線バスの路線再編

### 【中心部路線】



【広域路線】

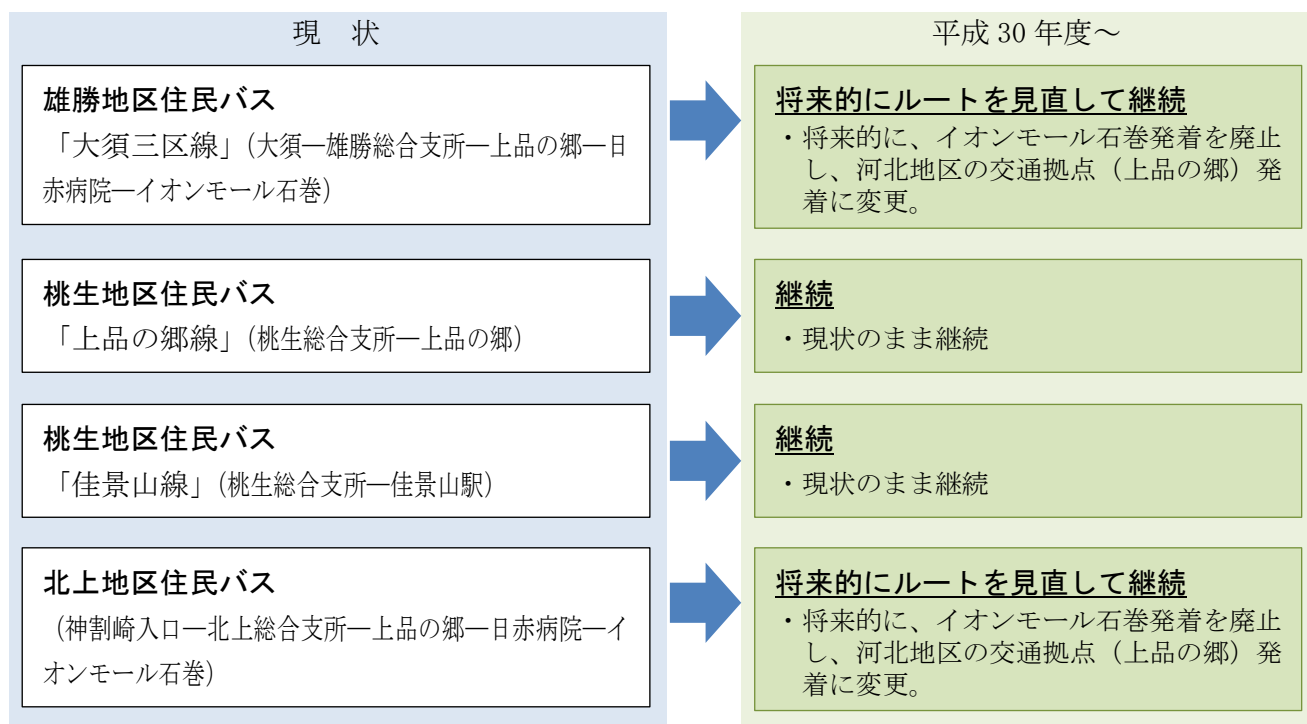


※一般の方に分かりやすく、経由地や行き先がイメージできるような路線名称についても検討する。

### (3) 住民バス・市民バスの路線再編

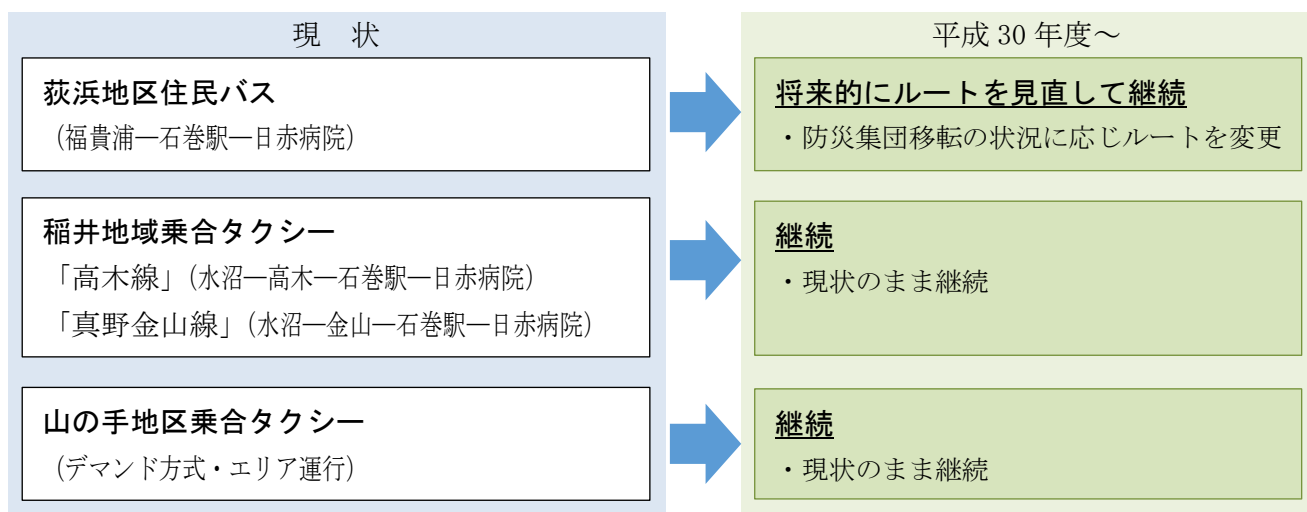
#### 【広域路線】

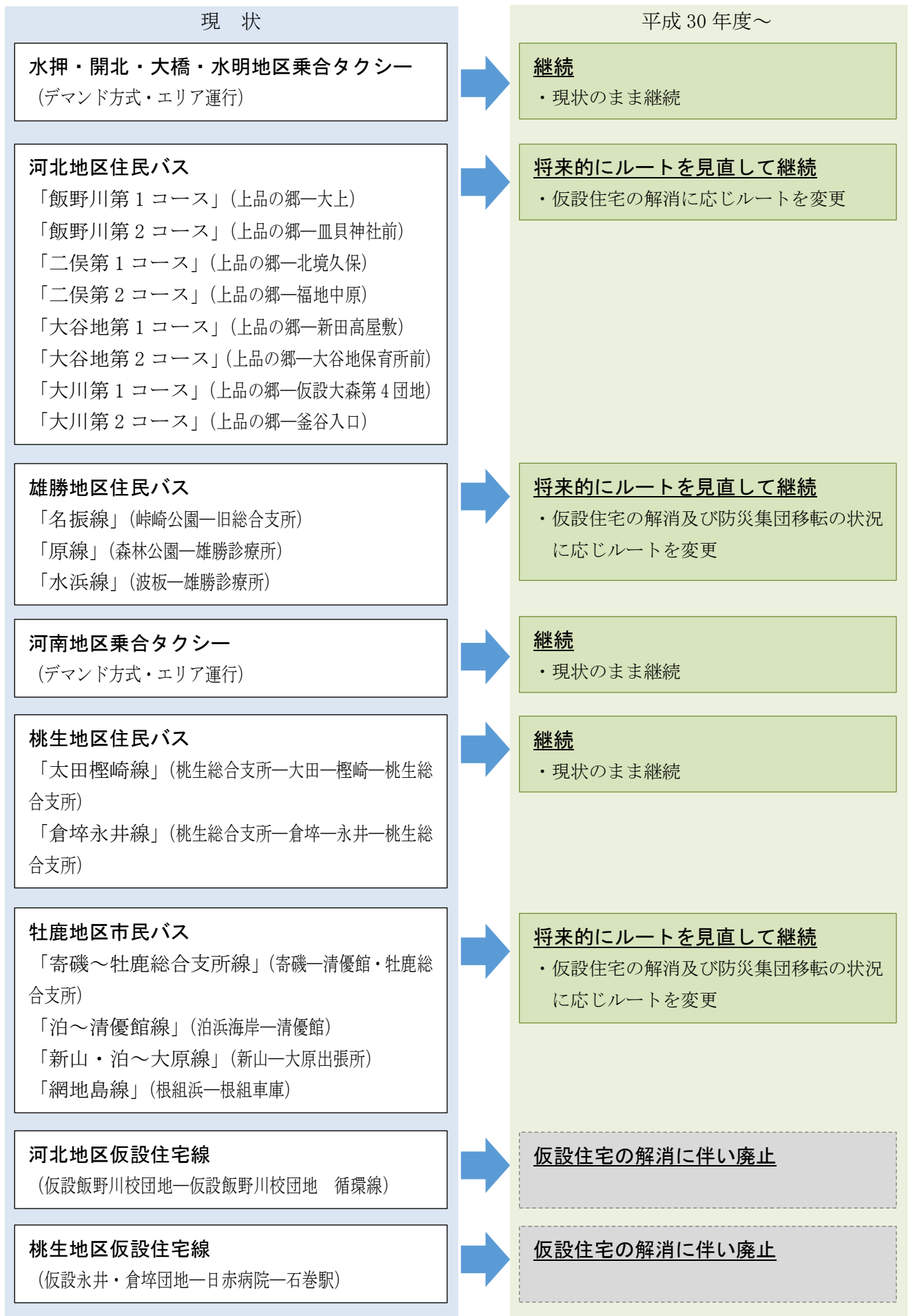
- ・ルート及びダイヤは、路線バスと競合が生じないように設定する。



#### 【地域路線】

- ・平成 19 年に策定した石巻市総合交通計画は、当時、1 市 6 町が合併するとともに、路線バスの廃止が大きな課題となっており、交通不便地区の解消に向けたバス・乗合タクシーを確立することを大きなテーマとしていた。その成果としては、石巻市内 10 地区で住民バスの運行協議会が組織され、各地区で、住民主体の住民バスや乗合タクシーが運行され、地域住民の足が確保されている。
- ・このような背景もあり、従来からの居住エリアでは概ね公共交通が充足しており、路線新設、ルート変更等の必要はないものの、防災集団移転整備や復興公営住宅整備等の復興事業の進捗に応じて、タイムリーに路線を変更していくこととする。

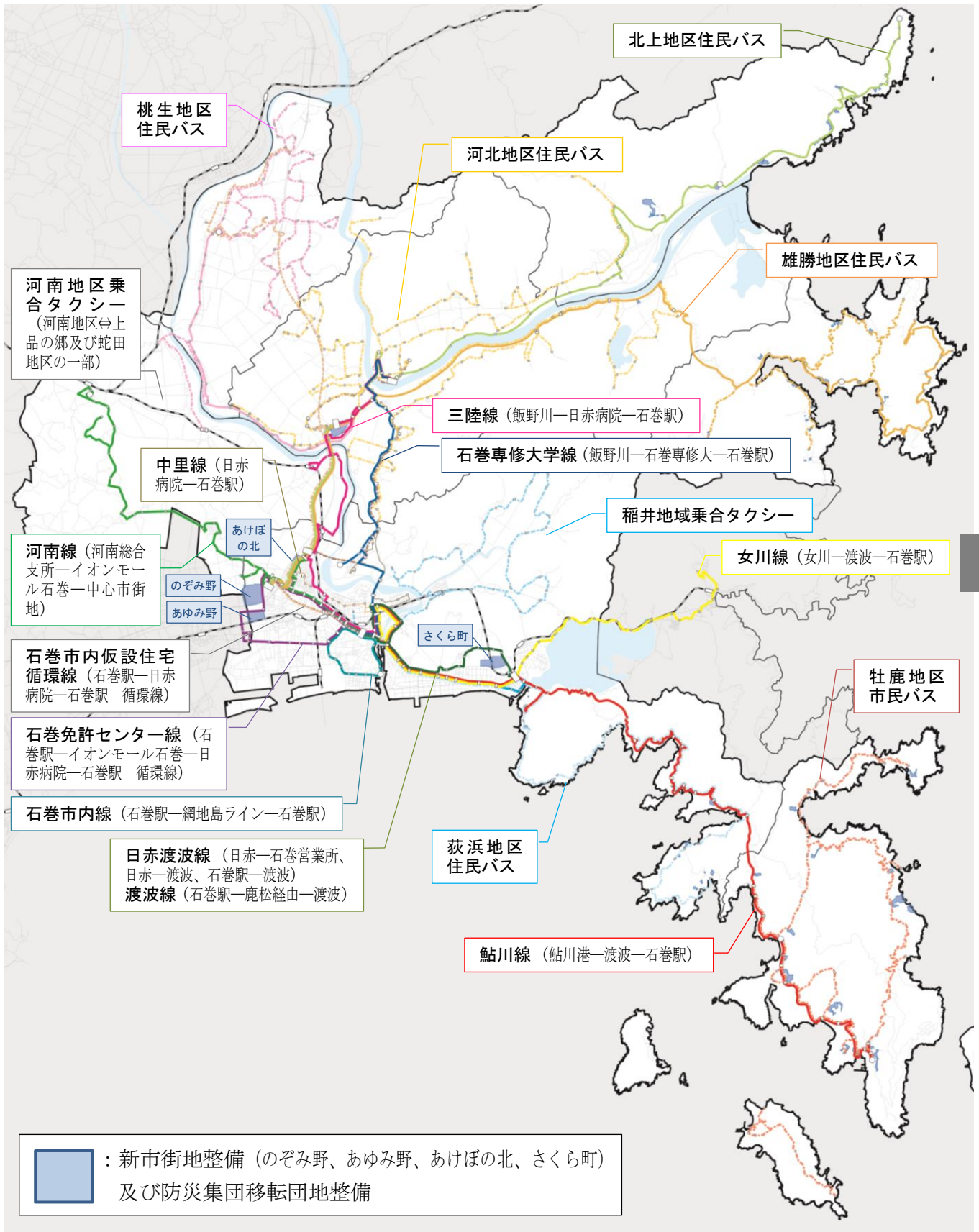




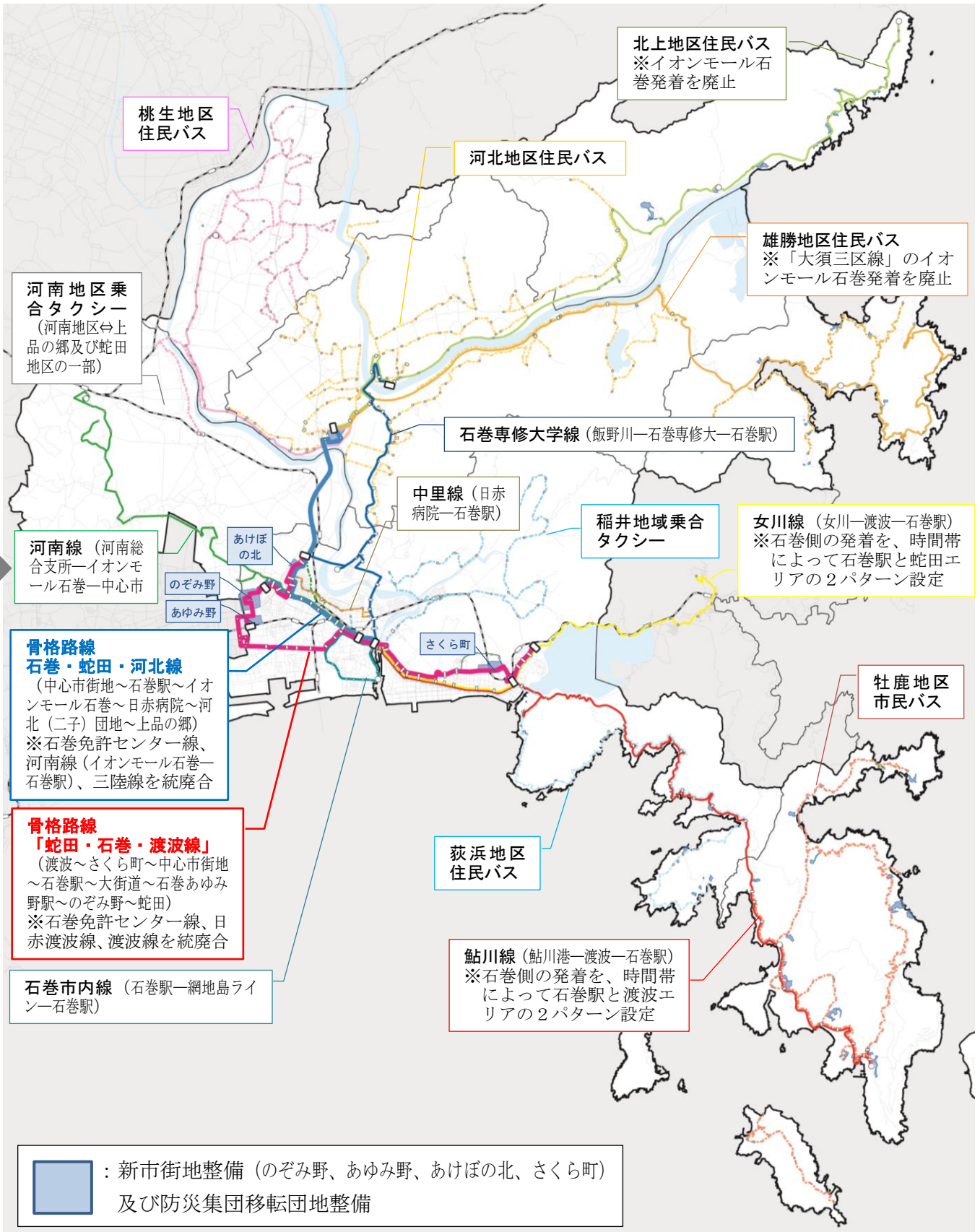


#### (4) 路線再編のイメージ

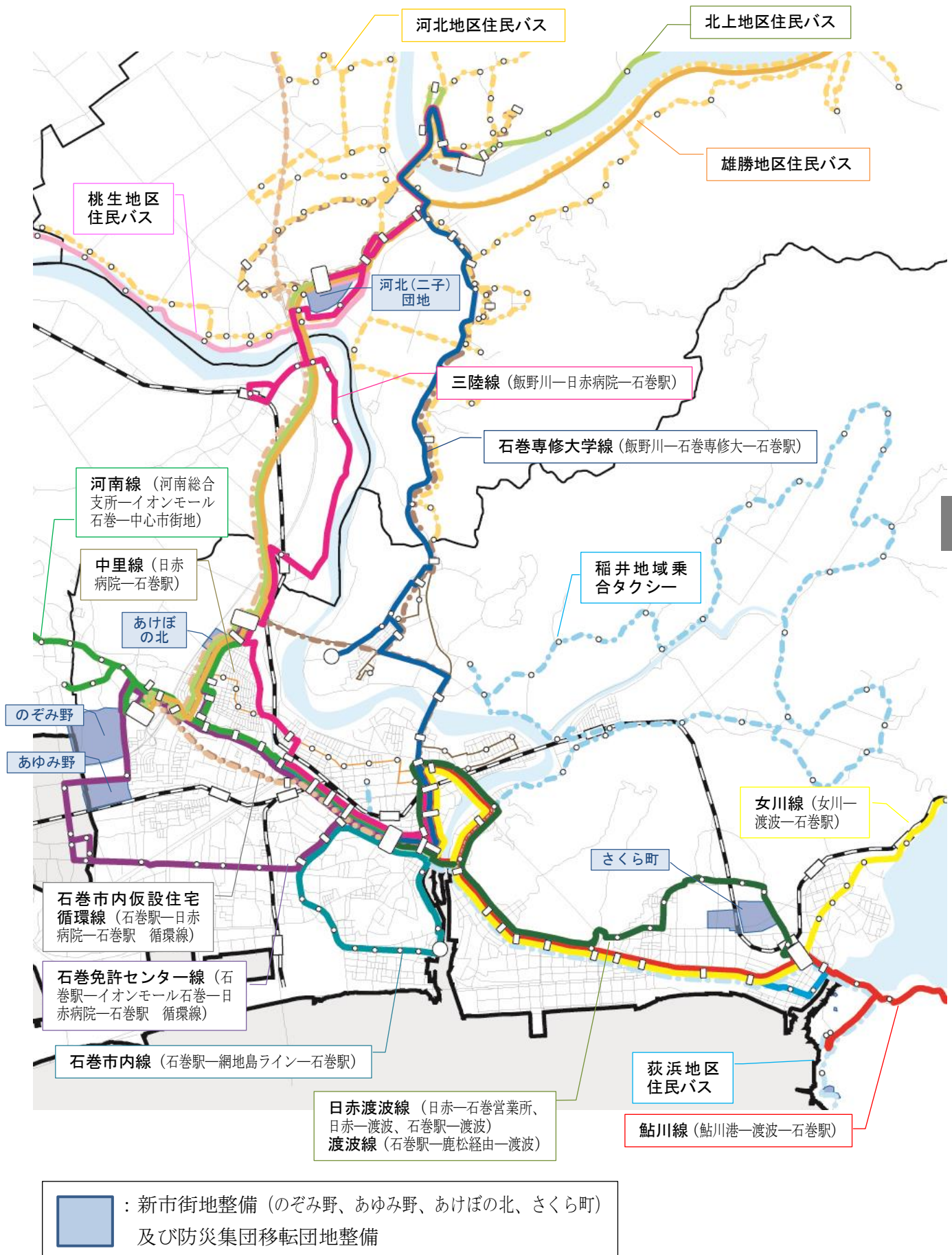
【石巻市公共交通ネットワークのイメージ図（路線再編前）】



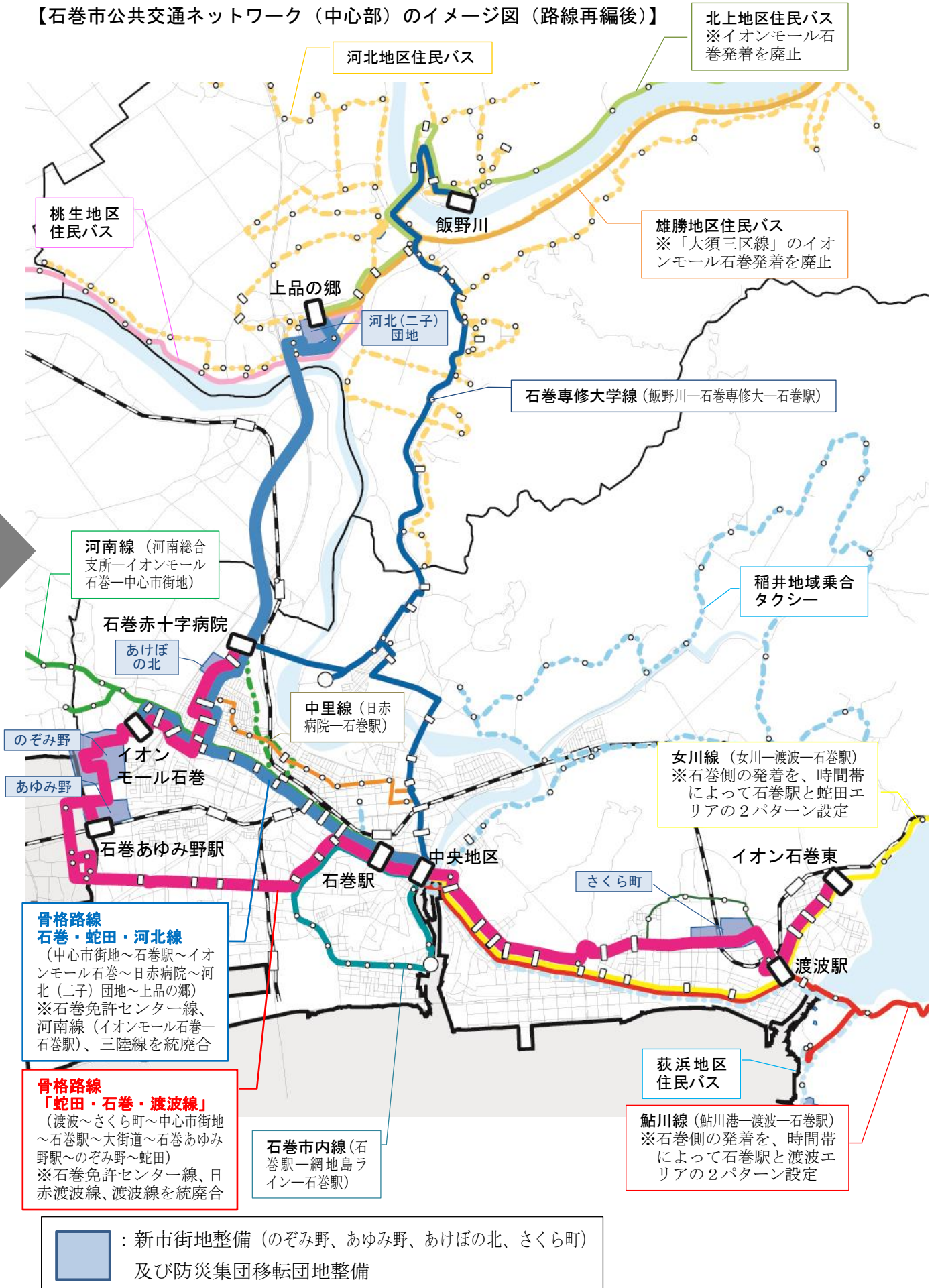
【石巻市公共交通ネットワークのイメージ図（路線再編後）】



【石巻市公共交通ネットワーク（中心部）のイメージ図（路線再編前）】



【石巻市公共交通ネットワーク（中心部）のイメージ図（路線再編後）】



## 6-3 交通拠点の整備

骨格路線・広域路線・地域路線等が連携した公共交通網の構築に向け、交通拠点において待合環境、乗継案内（鉄道からバス・タクシー、バスからバス）、乗り場案内、乗り場での行き先表示等を整備する。また、待ち時間を楽しくすごせる工夫を検討する。

### 【実施主体とスケジュール】

施策	実施主体	スケジュール												
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37			
骨格路線上の主要な交通拠点	石巻市 交通事業者 関係機関	再編 実施 計画	準備 ・ 調整	整備		評価・検証					継続又は見直し			
地域内拠点	石巻市 運行協議会 等			整備		評価・検証					継続又は見直し			

#### (1) 骨格路線上の主要な交通拠点

市内各方面への移動で重要な交通拠点となる「中心拠点」「一次拠点」「二次拠点」について、乗り場（ロータリー）、乗継案内（鉄道からバス・タクシー、バスからバス）、乗り場案内、乗り場での行き先表示等を整備する。

拠点性	交通拠点	整備箇所候補(案)	交通拠点の整備内容(案)
中心拠点	石巻駅	石巻駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>公共交通の案内板の設置</li> <li>総合案内所の設置（バス交通・離島航路・観光案内など）</li> </ul>
	中心市街地	中央地区交通拠点 （観光交流施設、 離島航路発着所増 設予定地付近）	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>公共交通の案内板の設置</li> <li>総合案内所の設置（バス交通・離島航路・観光案内など）</li> </ul>
一次拠点	蛇田地区	石巻あゆみ野駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の整備</li> <li>バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>公共交通の案内板の設置</li> </ul>
		イオンモール石巻	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>公共交通の案内板の設置</li> </ul>
	渡波地区	渡波駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>公共交通の案内板の設置</li> </ul>
		イオン石巻東	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>公共交通の案内板の設置</li> </ul>

	河北地区	上品の郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>・公共交通の案内板の設置</li> </ul>
二次拠点	石巻赤十字病院	石巻赤十字病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>・公共交通の案内板の設置</li> </ul>
	飯野川	飯野川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス乗り場の整備（バス停・上屋・ベンチなど）</li> <li>・公共交通の案内板の設置</li> </ul>

## (2) 地域内拠点

市内各地域内の地域路線と広域路線の乗継拠点である「地域内拠点」について、乗り場、乗り継ぎ案内等を整備する。

拠点性	交通拠点	整備箇所候補(案)	交通拠点の整備内容
地域内拠点	牡鹿地区	大原バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>
		鮎川港バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>
	雄勝地区	雄勝総合支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>
	桃生地区	桃生総合支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>
	河南地区	地区内のJR各駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>
		河南総合支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>
	北上地区	神割崎入口バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス待ち環境の整備（上屋・ベンチなど）</li> <li>・バス停表示（時刻表、路線図、運賃）</li> </ul>

## 6-4 運賃体系の再構築

公平で適切な受益者負担の考え方にもとづき、路線バス・住民バス・市民バスの適正な運賃体系を再設定する。また、広域路線の運賃を日常生活で利用できる範囲で設定することや、まちなかでの近距離区間を気軽に利用できる運賃設定などを検討する。その他、市内の各公共交通モード間で利用できる企画運賃なども検討する。

### 【実施主体とスケジュール】

施策	実施主体	スケジュール												
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37			
市内統一運賃	石巻市 運行協議会 交通事業者	再編 実施 計画	準備 ・ 調整	実施			評価・検証					継続又は見直し		
分かりやすく気軽に利用できる運賃体系の設定	石巻市 運行協議会 交通事業者			実施			評価・検証					継続又は見直し		
企画乗車券・フリー定期券等の企画・商品化	石巻市 運行協議会 交通事業者			検討・準備・調整			実施			評価・検証				

#### (1) 市内統一運賃

- ・市内の路線バスと住民・市民バス、乗合タクシー等について、同一区間・サービスで同一運賃となるよう、市内で一定のルールに基づいた統一運賃を検討する。
- ・市内統一運賃の導入にあたり、場合によっては、激変緩和期間を設けることも検討する。

#### (2) 分かりやすく気軽に利用できる運賃体系の設定

上記の市内統一運賃の検討にあたっては、利用者にとって分かりやすく支払やすい運賃制度であるとともに、市内の広域的な活動・移動を支援する視点から運賃制度を検討・設定する。また、交通拠点での乗継に配慮した仕組みを構築する。

「(1)の市内統一運賃」を含めた運賃体系については、平成29年度までに制度を構築するとともに周知を図り、平成30年度から新たな運賃体系で運行することを目指す。

○50円刻みなど分かりやすく・支払やすい運賃の検討

- ・初乗り150円、50円刻みの運賃制度

○まちなか運賃の設定

- ・骨格路線の運賃設定（200 円均一など）
- ・中心市街地内（石巻駅—中央三丁目—観光拠点間）の運賃設定（100 円、50 円均一など）

○上限運賃の検討

- ・市内上限運賃を検討する（市内上限 500 円など）。
- ・幹線路線と骨格路線を乗り継いでも、市内上限運賃内に収まるようにする（各地域～交通拠点間 300 円以内、骨格路線内 200 円均一など）。

例：鮎川～石巻駅間：

鮎川～渡波間 300 円、渡波～石巻間 200 円＝計 500 円

- ・地域内路線から中心部までの運賃についても、上限を設定する（最大 700 円など）。

例：地域内路線 200 円、各地域～交通拠点間 300 円以内、骨格路線内 200 円均一など

例：波板（雄勝）～イオンモール石巻間：

波板～雄勝総合支所 200 円、雄勝総合支所～河北 300 円、河北～イオンモール石巻 200 円＝計 700 円

**【参考】八戸圏域路線バス上限運賃化実証実験**

2011年 10月1日

バスを使って もっと便利に さらに お得に!!

バスの運賃が変わります!!

※例は、標準にやさしい、新しいバス運賃体系です。



八戸市内のバス運賃が 1乗車あたり 上限300円 50円刻み 初乗り150円

市町村をつなぐバス運賃が 1乗車あたり 上限500円 50円刻み 初乗り150円 (バス乗車1回 ¥800円)

300円上限利用		300円上限利用		500円上限利用		乗継割引		乗継割引	
乗車回数	運賃	乗車回数	運賃	乗車回数	運賃	乗車回数	運賃	乗車回数	運賃
1乗車	150円	2乗車	300円	1乗車	150円	2乗車	270円	3乗車	405円
2乗車	300円	3乗車	450円	2乗車	300円	3乗車	420円	4乗車	555円
3乗車	450円	4乗車	600円	3乗車	450円	4乗車	570円	5乗車	705円
4乗車	600円	5乗車	750円	4乗車	600円	5乗車	720円	6乗車	840円

八戸圏域定住自立圏路線バス上限運賃化実証実験  
APRIL 2011年 10月1日 開始 | 路線バス・住民バス・乗合タクシー | 乗継割引実施 | 八戸圏域バス

**(3) 企画乗車券・フリー定期券等の企画・商品化**

○市内運行バス（ミヤコーと住民・市民バス）共通の1日乗車券発行（2,000 円など）

○免許返納者への1年間フリーパス（路線バス・住民バス・乗合タクシー）

- ・年齢制限、利用可能時間帯の制限などを検討する。

○障害者・子どもの運賃割引制度の統一（路線バス・住民バス・乗合タクシー）

○ミヤコーバスの高速バスと路線バスの乗継割引

- ・石巻駅・イオン乗り換えを意識した乗継割引を検討する。



## 6-5 住民バス・市民バスの新たな制度設計

各地区で運行している住民バス等は、震災に伴う被災者の生活支援を目的に、全市的に運賃を引き下げるとともに、一部の地区では市街地までの延長運行を実施している。

被災者の生活再建や復興の進捗とともに、運賃体系の再構築や全市的な基本サービス水準の設定が必要となることから、以下のように検討する。

### 【実施主体とスケジュール】

施策	実施主体	スケジュール											
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37		
運賃体系の再構築	石巻市 運行協議会	検討・準備・調整		実施			評価・検証					継続又は見直し	
基本サービス水準の設定	石巻市 運行協議会	検討・準備・調整					実施						

#### (1) 運賃体系の再構築

- 公平で、適切な受益者負担の考え方に基づく運賃体系により住民バス等を運行することとし、平成29年度までに制度を構築するとともに周知を図り、平成30年度から新たな運賃体系で運行することを目指す。
- なお、運賃体系の再構築にあたっては、路線バスの運賃とも整合を図る。

#### (2) 基本サービス水準の設定

- 地域内の公共交通等の状況と経費負担のあり方を踏まえた基本サービス水準を設定する必要がある。
- 運行回数等の基本サービス水準の設定にあたっては、住民バス等の利用状況や他の公共交通機関・タクシー事業者の状況など地域の実情を勘案し、仮設住宅の解消や復興状況を踏まえながら、石巻市震災復興基本計画の最終年度である平成32年度までに設定することを目指す。
- 基本サービス水準の設定とともに、利用者、行政、地域による経費負担のあり方についても平成32年度までに検討する。
- 運行形態にとらわれない住民が主体となった交通ネットワーク確保について検討を行う。

#### 【基本サービス水準（案）】

	基本サービス水準	備考
広域路線	高校生の通学、高齢者の通院利用を考慮。 ・週5日（平日） 1日2往復	・高校生の通学に配慮したダイヤを設定する必要がある。 ・ルート及びダイヤは路線バスと競合しないよう配慮する必要がある。
地域路線	高齢者の地域内での通院、買物を考慮。 ・週2日 1日1往復	・スクールバスとしての機能を併せ持つ場合には、登下校に必要な回数の運行を確保する必要がある。

## 6-6 利用促進（モビリティマネジメント）

再編した公共交通網をより多くの市民や来訪者に知ってもらい、利用してもらうための利用促進策を検討する。見せ方の工夫や情報提供ツールの作成・配布に加え、目的施設等と公共交通をパックにしたお得な企画乗車券等も検討する。

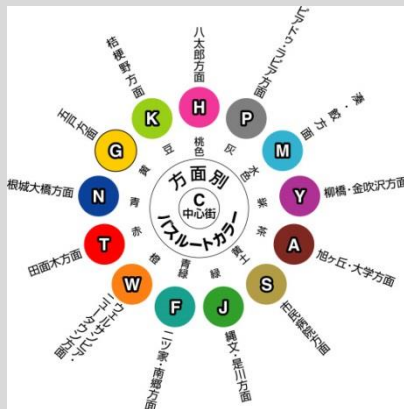
### 【実施主体とスケジュール】

施策	実施主体	スケジュール										
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
分かり易い 方面別記号 と路線番号 の設定	交通事業者 石巻市	検討・準備・調整		実施	評価・検証	継続・見直し						
ラッピング バスの運行	交通事業者 石巻市	検討・準備・調整		実施	評価・検証	継続						
バスパック 等の企画商 品化	交通事業者 石巻市	検討・準備・調整		実施	評価・検証	継続						
バスの乗り 方教室	石巻市 交通事業者	検討		実施	評価・検証	継続						
バスマッ プ、総合時 刻表の作成 (更新)・配 布	石巻市	路線再 編に合 合わせた 修正		実施	評価・検証	継続・見直し						

○分かり易い方面別記号と路線番号の設定

- ・方面別の代表的な地名をアルファベット記号で作成し、停留所や路線図、車両の方向幕で示すときは「ルートカラー」を表示、さらに、具体の路線を2桁の数字で示すことなどを検討する。

【参考】八戸市・方面別のナンバリング及び、車両の方向幕



○ラッピングバスの運行

- ・バス車両をラッピングした（仮称）マンガタン・バスを運行し、移動手段としてだけでなく、バスへの乗車を目的にした利用者の増加を図ることを検討する。休日には、乗務員のコスプレなども検討する。

【参考】南部バスのクリスマスバス（左）、ハロウィンバス（右）



○バスパック等の企画商品化

- ・路線バスの新規利用者の開拓に向けて、地域資源・食などと結びつけた路線バス・高速バスの企画商品を開発する（日帰り路線バスパック、高速バス+路線バスのパック商品、高速バス+離島航路+食事等）。
- ・バスパック等を通じて、路線バスだけでなく沿線施設の利用促進や、地域の活性化を図ることを目的とする。
- ・また、中心市街地で買物をするとバス運賃が割引になるなどといった、商業・まちづくりと連携した利用促進策を検討する。

【参考】八戸・バスパック（左・中央）、会津バス・高速バスプラスワン（右）

○バスの乗り方教室

- ・市内の幼稚園・保育園・小学校等を訪問し、バスに親しみながらバスの乗り方や公共マナーを学ぶ教室を開催する。

○バスマップ、総合時刻表の作成（更新）・配布

石巻市バスマップ（平成26年3月作成）

路線(バス)	石巻免許センター線(より免許センター先回り) 平日
石巻駅前	8:10 9:25 11:25 13:25 15:30 16:50
山下一丁目	8:13 9:28 11:28 13:28 15:33 16:58
石巻免許センター	8:14 9:29 11:29 13:29 15:34 16:59
山下二丁目	8:15 9:30 11:30 13:30 15:35 17:00
上野町	8:17 9:32 11:32 13:32 15:37 17:02
上野町	8:18 9:33 11:33 13:33 15:38 17:03
池小学校	8:19 9:34 11:34 13:34 15:39 17:04
大森町	8:21 9:36 11:36 13:36 15:41 17:06
石巻駅前	8:23 9:38 11:38 13:38 15:43 17:08
石巻免許センター	8:24 9:39 11:39 13:39 15:44 17:09
石巻西高校	8:25 9:40 11:40 13:40 15:45 17:10
法政館(石巻)	8:28 9:43 11:43 13:43 15:48 17:13
イオンモール石巻	8:33 9:48 11:48 13:48 15:53 17:18
小森	8:36 9:51 11:51 13:51 15:56 17:21
宇治	8:37 9:52 11:52 13:52 15:57 17:22
石巻駅前	8:38 9:53 11:53 13:53 15:58 17:23
石巻駅前二丁目	8:39 9:54 11:54 13:54 15:59 17:24
石巻駅前	8:44 9:59 11:59 13:59 16:04 17:29
石巻駅前入口	8:45 10:00 12:00 14:00 16:05 17:30
石巻駅前二丁目	8:49 10:04 12:04 14:04 16:09 17:34
石巻駅前入口	8:50 10:05 12:05 14:05 16:10 17:35
池小学校	8:51 10:06 12:06 14:06 16:11 17:36
上野町	8:52 10:07 12:07 14:07 16:12 17:37
池小学校	8:53 10:08 12:08 14:08 16:13 17:38
池小学校二丁目	8:55 10:10 12:10 14:10 16:15 17:40
池小学校二丁目	8:56 10:11 12:11 14:11 16:16 17:41
池小学校一丁目	8:57 10:12 12:12 14:12 16:17 17:42
石巻駅前	9:00 10:15 12:15 14:15 16:20 17:45

石巻市総合時刻表（平成27年7月作成）

## 6-7 環境整備

持続可能で誰もが利用しやすい公共交通を目指し、車両・乗場・支払方法等のバリアフリー化、離島航路の改善等を検討する。

### 【実施主体とスケジュール】

施策	実施主体	スケジュール										
		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
バリアフリー化の推進	交通事業者 石巻市						実施					
		検討・研究										
離島航路	交通事業者 石巻市	検討・準備・調整					継続又は見直し					
		実施					評価・検証					

### (1) バリアフリー化の推進

#### ○ワンステップ・ノンステップの導入

- ・「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」では市町村主導で地域のバリアフリー施策を推進することが掲げられている。
- ・バス車両の新規導入時には、高齢者・車椅子利用者・ベビーカー利用者等が乗降しやすい低床バスの導入が望まれることから、低床バス車両の導入の検討を行う。



図 低床バス（左：ワンステップバス、右：ノンステップバス）

#### ○ICカード導入の検討

- ・平成27年12月に、高速バス路線（仙台～石巻線）においてICカード乗車券「icsca」を導入。
- ・一般路線バス等についても、利用者が運賃の支払いをスムーズに行え（運賃支払時間の短縮にもつながる）、交通事業者が運賃收受の管理、利用状況が把握できるICカードの導入可能性について検討・協議していく。
- ・具体的には、ICカード化によるメリットの整理、導入にあたっての課題把握、導入の費用、課題への対応検討、新運賃制度の実施に合わせた導入の可能性などの研究を行う。



#### ○各駅のバリアフリー化

- ・高齢者や障害者にも安全で、利用しやすい駅施設の整備に向け、関係機関と連携していく。

#### ○バス乗場周辺環境整備

- ・各バス停の待合・駐輪環境を地域や企業の協力により整備する。

## (2) 離島航路

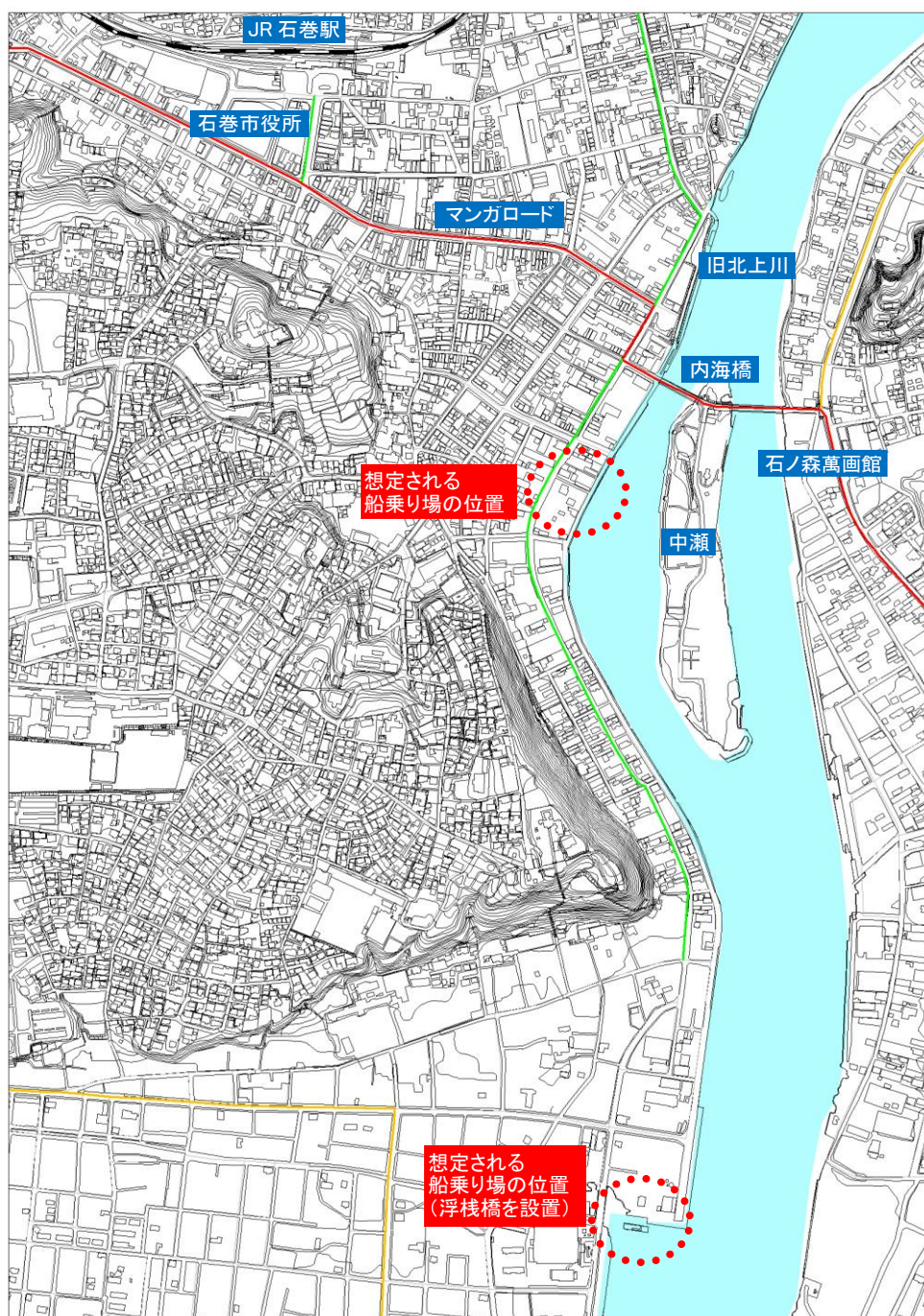
### ①中央地区への航路発着所の増設

#### ○中央地区に発着所を整備

- ・以前、石巻港は中心部に整備されていた。そのため、東日本大震災からの復興及び中心市街地の賑わい活性化の中心的な役割を果たす地区として観光交流施設等の整備が検討されている中央地区に発着所を整備する。効果としては、石巻中心部に近づくだけでなく、中心部付近の観光地と離島の観光地とを結びつけることで、観光地間の周遊向上が期待できる。

#### ○門脇地区の発着所付近に浮棧橋を設けた発着所を整備

- ・中心部に1箇所、現在の発着所付近に1箇所と2箇所の発着所体制を整備する。現在の発着所付近は浮棧橋を設置することで、自動車の利用者を維持し、機能等を住み分ける。



## ②門脇地区等への駐車場整備

- ・ 駐車場に対するニーズが高い「石巻港」と「鮎川港」について駐車場の整備を検討する。

## ③各発着所への待合所整備

○待合施設的环境が十分ではない各港における待合施設の整備

- ・ アンケート結果において、網地港と長渡港の環境を良くしてほしいとの要望が出るなど、暫定的な待合施設に対する改善要望が多い。待合施設の整備については、新しい施設を作るという方法だけでなく、既存の施設を改修して有効活用するなどの方法もあり、それらを含めて、待合施設の整備を検討する。

## ④船舶の老朽化に伴う新船建設

- ・ 新船舶の導入により、船内のバリアフリー化、船内設備等の更新、運航率の向上、所要時間の短縮、運航コストの軽減などを図る。
- ・ 新船舶の導入については、できる限り早期の運航開始を検討する。



カーフェリー「マーメイド」(昭和 58 年 6 月就航)



高速船「ブルーライナー」(昭和 63 年 6 月就航)



小型客船「みゅう」(昭和 62 年 9 月就航)